



よしおか

基本方針

自ら学び、協働して高め合い、郷土を愛する子供たちの育成

教育目標

- ・ねばり強い子
- ・考える子
- ・助け合う子
- ・じょうぶな子

考える力を育む AI との距離感

校長 伊藤 孝之

最近、観たテレビ番組が非常に印象的でした。それは、小学生の娘をもつ父親が番組に相談するというものでした。相談の内容は「娘が人権標語コンクールに応募し入賞したが、その標語はAIに作ってもらったものであり、AIに頼りすぎてしまう娘が心配だ」というものでした。父親は「AIに食われそうで怖い」と率直に語り、娘が何でもAIに頼ることで、自分で考える力や失敗から学ぶ経験が失われるのではないかと危惧していました。教育の場において、子供が自分の頭で考えることは非常に大切であり、父親の不安は多くの親が共感できるものだと思います。

一方で、娘はAIの利用に「罪悪感はない」と語り、AIを宿題や課題を効率的にこなすための便利なツール（道具）と捉えていました。しかし「恋愛の告白は自分の言葉で聞きたい」とも話しており、「大事な場面では人間の言葉が必要だ」と直感的に理解している様子も見られました。つまり、彼女はAIの言葉と人間の言葉の違いを感じ取っており、場面によって使い分けようとする感覚をもっていることがわかります。

番組内ではさらに、ほかの入賞者も出演していました。そのうち複数名がAIの回答を使っていたことが明らかになり、AIが子供たちの生活に深く浸透している実態が示されました。審査員も見抜けないほど完成度の高い標語が生成されていたことは、AIの能力の高さを示すとともに、創作の意味を問い合わせすきっかけにもなりました。

番組の終盤、父親の「自分の頭で考えてほしい」という願いを受けて、子供たちが自分の言葉で標語を考え直す場面がありました。その標語は、AIが示すような「普遍的で整ったもの」ではなく、子供たちの生活や経験に基づいた、感情豊かなものでした。AIが作成したものよりも心に響く個性が光る標語だと感じました。

この番組を通して強く思ったのは、AIの使い方次第で子供の感性が磨かれることもある、逆に鈍ってしまうこともあるということです。AIは便利で強力な道具ですが、それに頼りすぎると「自分で考える力」や「失敗から学ぶ経験」が失われる危険があります。しかし、適切に使えば新しい視点を得たり、表現の幅を広げたりする助けにもなります。例えば、自分のアイデアを基にAIを活用したり、AIの提案を参考にして構成を練ったりすることで、AIは子供の思考を補助し、創造性を引き出す役割を果たすでしょう。

AIを正しく使えば子供たちの学びや表現を豊かにする可能性を秘めています。ただし、その使い方を教育的に導く必要があります。子供たちが自分の感性を大切にしながらAIを活用できるよう、家庭や学校での指導が求められています。子供たちの感性がAIによって失われることのないよう、私たち大人が見守り、導いていく責任があるのだと強く感じました。



この文章を基にAIが作った
イラストです

福島小との合同学習

性に関する授業(5・6年生)

11月5日(水)、福島小学校で性に関する授業を行いました。福島小・吉岡小の5・6年生が参加し、赤ちゃんが生まれるまでの成長の様子について学びました。授業では、おなかの中にいる赤ちゃんの心臓の鼓動と、自分たちの脈を比べる活動も行い、児童はその違いに驚きながら興味深そうに話を聞いていました。



消防署見学(3年生)

11月11日(火)、福島小との合同学習として、社会科の学習で福島町消防署を見学しました。児童はこれまで学習してきた内容を思い出しながら、防火服を着せていただいたら、救急車に乗せていただいたらして、消防署の仕事について理解を深めていました。実際に体験することで、多くの気付きがあったようで、子どもたちは目を輝かせながら見学していました。



入賞おめでとうございます

令和7年度小・中学生人権ポスターコンテスト

「優秀賞」 ○年 ○○ ○○ さん
○年 ○○ ○○ さん
「奨励賞」 ○年 ○○ ○○ さん
○年 ○○ ○○ さん

町民文化祭

11月8日(土)、町民文化祭に参加しました。児童は、自分たちの作品が展示されている様子を楽しそうに見て回っていました。また、ステージ発表では、校歌と「YUME 日和」を披露しました。出演前は緊張した表情も見られましたが、いざ歌い始めると元気いっぱいの声が響き渡り、最後まで堂々と歌いきることができました。



家学レベルアップタイム

11月6日(木)、自学ノート(どりよくのれっしゃ)の取組を発表し合う「家学レベルアップタイム」を実施しました。発表した児童は、自分なりの学習方法や調べ学習の内容について、分かりやすく丁寧に紹介していました。発表を聞いた児童からは、「自分もまねしてみたい」「もっと工夫してみよう」という声が聞かれ、工夫された自学ノートを見て学習意欲を高めている様子がうかがえました。



12月行事予定 帰宅時刻：午後4時

日	曜	行事予定
1	月	
2	火	
3	水	開校記念日
4	木	3~6年そば打ち体験
5	金	5h授業 参観日 PTCA役員会
6	土	
7	日	
8	月	読書に親しむ2週間
9	火	児童会④ 移動図書 食育指導
10	水	
11	木	
12	金	全校集会 青少年の主張大会
13	土	
14	日	
15	月	
16	火	児童会⑤
17	水	
18	木	
19	金	縦割り清掃 3~6年北海道福島商業高等学校学習成果発表会
20	土	
21	日	
22	月	4h授業
23	火	4h授業 大掃除
24	水	4h授業 冬の集会 冬季休業前集会 給食最終日
25	木	冬季休業(1/13まで)
26	金	
27	土	
28	日	
29	月	学校閉庁日
30	火	学校閉庁日
31	水	学校閉庁日